



変化する社会の中で**自律**していく生徒の育成「みんなで100点チーム西中」

「てとてとて」

高鍋西中学校だよりNO11 令和6年1月19日 文責 黒木 倫徳

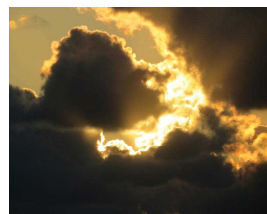


新年あけましておめでとうございます



2024年が始まりました。新年早々に能登半島地震や羽田空港航空機衝突事故の痛ましい災害や事故のニュースが飛び込んできました。被災された方々やご遺族の皆様にご心よりお悔やみを申し上げたいと思います。

本校では、1月9日（火）が3学期の始業式でした。お陰様で新学期のスタートを無事切ることができました。今学期、3年生は義務教育の集大成となり、1・2年生は学年のまとめと次のステージへの準備の時期となります。生徒の皆さんも教職員もそのことをしっかり自覚した取組をしていきましょう。2学期の終業式と3学期の始業式にそれぞれ反省や抱負を代表の生徒が発表してくれましたので掲載いたします。






【2学期の反省】

| | | |
|-----------------|---|--|
| 1年代表 安藝ナミさん | <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育大会ではリーダーとなり仲間と協力して頑張った。 ○ グループワークトレーニングで多くのことを学んだ。 ○ 言葉遣いや授業態度などは改善していく必要がある。 | |
| 2年代表 見玉裕海さん | <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育大会等の行事を通して成長することができた。 ○ 修学旅行では集団行動や時間を守ることができた。 ○ 勝負の1年を前にみんなを引っ張っていきたい。 | |
| 3年代表 田中瑠奈さん | <ul style="list-style-type: none"> ○ 元気があり団結力のある集団である。 ○ 周りに流されてしまうことがあり注意できなかった。 ○ 受験を前にして今のままで大丈夫か考えよう。 | |
| 生徒会代表 馬渡花穂さん | <ul style="list-style-type: none"> ○ 行事に全力で取り組む西中の良さがたくさん見られた。 ○ 昼休みなどに教え合いや学び合う姿が見られた。 ○ 私語や居眠りなど授業態度は改善が必要である。 | |

【3学期の抱負】

| | | |
|----------------|--|--|
| 1年代表 増尾勇人さん | <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語力を高めていき、授業中の私語をなくす。 ○ 整理整頓を意識して行っていく。 ○ 相手の目を見て、笑顔であいさつできるようにする。 | |
|----------------|--|--|

| | | |
|-------------------------------|--|---|
| <p>2 年代表 黒木琴未さん</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2 学年全体で授業態度を改善していく。 ○ 暴力的な言葉や相手が傷つくような言葉遣いをなくす。 ○ 先生方への態度や敬語の使い方に注意する。 |  |
| <p>3 年代表 財津吉風さん</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ まだまだ受験生という自覚や意識が足りない面がある。 ○ 全員が志望校合格に向けて、3 年生のよさである団結力を高め受験へ向けて頑張っていく。 |  |
| <p>生徒会代表 祝田いろは さん</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いつも自分から全力で」のスローガンを意識しながら各行事に自主的、主体的に取り組んでいく。 ○ 授業態度の改善すべき点は改善していく必要がある。 |  |

認知症について生徒会主導で理解を深めました！

昨年(2023)の12月18日に生徒会主催による全校道徳が行われました。内容は、高鍋町社会福祉協議会が毎年募集している「認知症架け橋川柳」について、認知症を正しく理解したうえで書くというものでした。新旧合わせて約20名の生徒会役員は、10月に認知症サポーター養成講座を受講し、そこで学んだ内容を基に、認知症の方がいる家族にインタビューをしたりするなどして資料を作成しました。

当日は、各学年に分かれ役割分担を決め、各学年の生徒に向けてまとめたことを発表しました。発表は、プレゼンテーションを使用し、認知症の症状や特徴、認知症の方の悩みや不安、接し方などをイラストやクイズも交えながら行ってくれました。とても分かりやすく精選された内容に本当に感心いたしました。また、生徒の様子を見学に来られた、高鍋町地域包括支援センターの図師さん(生徒に養成講座を行っていただいた。)より、高齢者の方が集まる憩いの場でも生徒の発表を聞かせることはできないかとのオファーを受け、このほど代表生徒5名が発表の機会をいただきました。

昨年度もウクライナ支援のための募金活動を主体的に計画してくれましたし、本校の生徒会役員のみなさんは、地域・社会貢献のために自分たちができることを見つけ出し、関係する大人とのつながりも深めながら意欲的に活動してくれています。今後とも西中生徒の取組を注視していただくとともにご支援、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。



能登地震への支援と教訓

能登半島地震では、いまだに全容が分からず孤立している地区もあるようです。一日も

早く安全・安心に暮らせるようお願いしつつ、我々ができる支援は何かを考えるとともに、私たち自身の防災・減災に対する意識と実践力を高めることが必要です！

